

八学大 決勝へ

明治神宮野球大会 東北地区代表決定戦

明治神宮野球大会東北地区大学代表決定戦の1回戦1試合が22日、弘前市のはるか夢球場で行われた。八戸学院大（北東北）が6―1で東日本国際大（南東北）を破り、決勝に駒を進めた。

八学大は1点を追う3回、1死満塁から小林の押し出し四球で同点とする。続く十鳥の右犠飛で勝ち越し。終盤にも4点を追加した。投げては2番手の三田が、4回被

安打1、無失点と好投した。東日本国際大は三回に佐々木優征（青森山田高）の左犠飛で先制したが、五回以降は1安打と打線が沈黙した。八学大は23日の決勝、同球場で富士大（北東北）と戦う。2勝したチームが明治神宮大会の出場権を得る。秋季リーグで優勝した八学大は、1勝のアドバンテージがある。（吉田希望）



【東日本国際大―八戸学院大】3回裏、八戸学院大1死満塁、十鳥が右犠飛を放ち2―1と勝ち越しはるか夢

▽1回戦
東日本国際大（南東北）
001000000001

八戸学院大（北東北）
002000121x6

（東）大山、永井、佐賀、渡邊、山本、播磨、三井、坂手、畠山

（八）西山、三田、坂手、畠山、三田、畠山、十鳥（八）

十鳥3打点で勢い

○：八戸学院大の十鳥が勝ち越し犠飛を含め3打点の活躍でチームを勢いづけた。同点の三回1

死満塁、内角の直球を捉え右犠飛で勝ち越しに成功。七回には2死一、二塁から、左中間を破るタイム押し2点適時二塁打を放った。

秋季リーグ最後の2試合（富士大戦）で連続本塁打を記録し「きょうは警戒される中でも対応できた」と充実の表情。23日に再び対戦する富士大には「相性が良いイメージがある。自分の仕事ができれば勝てるはず」と自信をのぞかせた。